

消化器外科

診療科の紹介

消化器外科はスタッフ8名で診療を行っております。スタッフには外科学会指導医・専門医、消化器外科学会指導医・専門医、内視鏡外科学会技術認定医、消化器病学会指導医・専門医、消化器内視鏡学会指導医・専門医、肝胆膵外科学会高度技能指導医、肝臓学会指導医・専門医、救急科指導医・専門医、外傷専門医、癌治療教育医・認定医等がそろっています。

取り扱う主な対象疾患

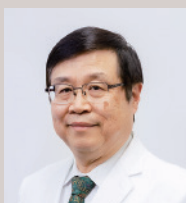
消化器外科としては胃癌、大腸癌、肝臓癌、胆道癌、膵臓癌等の悪性疾患や胆石症、虫垂炎、鼠径ヘルニア、痔核等の良性疾患に対して積極的に手術に取り組んでいます。鏡視下手術も胆嚢摘出のみならず、胃癌、大腸癌を中心に意欲的に取り組んでおり、現在では消化器に関する手術の8割以上を腹腔鏡下に行っています。また、外科的治療が必要とならない消化器疾患に対しても当科において柔軟に対応出来る体制に努めています。特に消化器内視鏡学会指導医、専門医のもと、上下部内視鏡検査、胆膵内視鏡検査やそれに関連する処置等も積極的に行っております。

診療科の特徴・強み

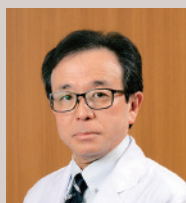
当院は救命救急センターがあるため、急性腹症、腹部外傷等を扱う頻度が高いのが特徴です。麻酔科や手術室の協力のもと、いつでも緊急手術が可能な体制をとっています。また治療に際しては、患者様が思い描く最良の結果を得られるよう、各疾患の診療ガイドラインなども参考にしながら科学的根拠に基づいて手術や治療戦略を立てています。特に悪性疾患の患者様には、不安を取り除くために、病気の程度や手術の内容、あるいは抗癌剤治療の内容や予定など、分かり易く説明を行うことを心掛けています。

新病院では、手術室内に血管造影とCT検査が同室で出来るハイブリッドオペレーションルームが新設されました。これにより外傷や出血性疾患に対して、より迅速に対応可能となっています。

スタッフ紹介



院長
消化器・肝臓病名誉センター長
岡本 好司
おかもと こうじ



統括部長
木戸川 秀生
きどがわ ひでお



消化器外科主任部長
消化器・肝臓病センター長
野口 純也
のぐち じゅんや



外科主任部長
山吉 隆友
やまよし たかとも



外科部長
上原 智仁
うえはら としひと



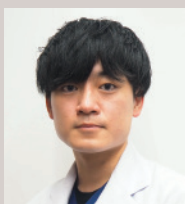
外科部長
又吉 信貴
またよし のぶたか



外科部長
沖本 隆司
おきもと たかし



救急科副部長
外科副部長
金野 剛
こんの たけし



外科
田上 貴仁
たがみ たかひと